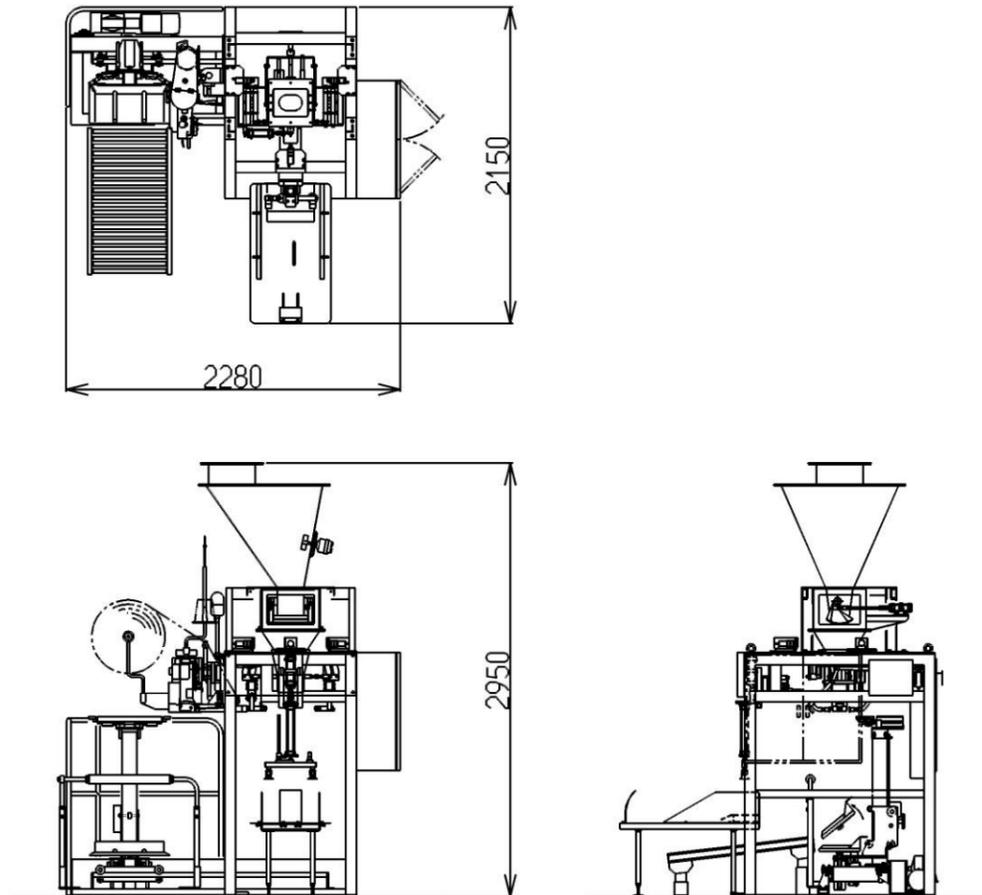


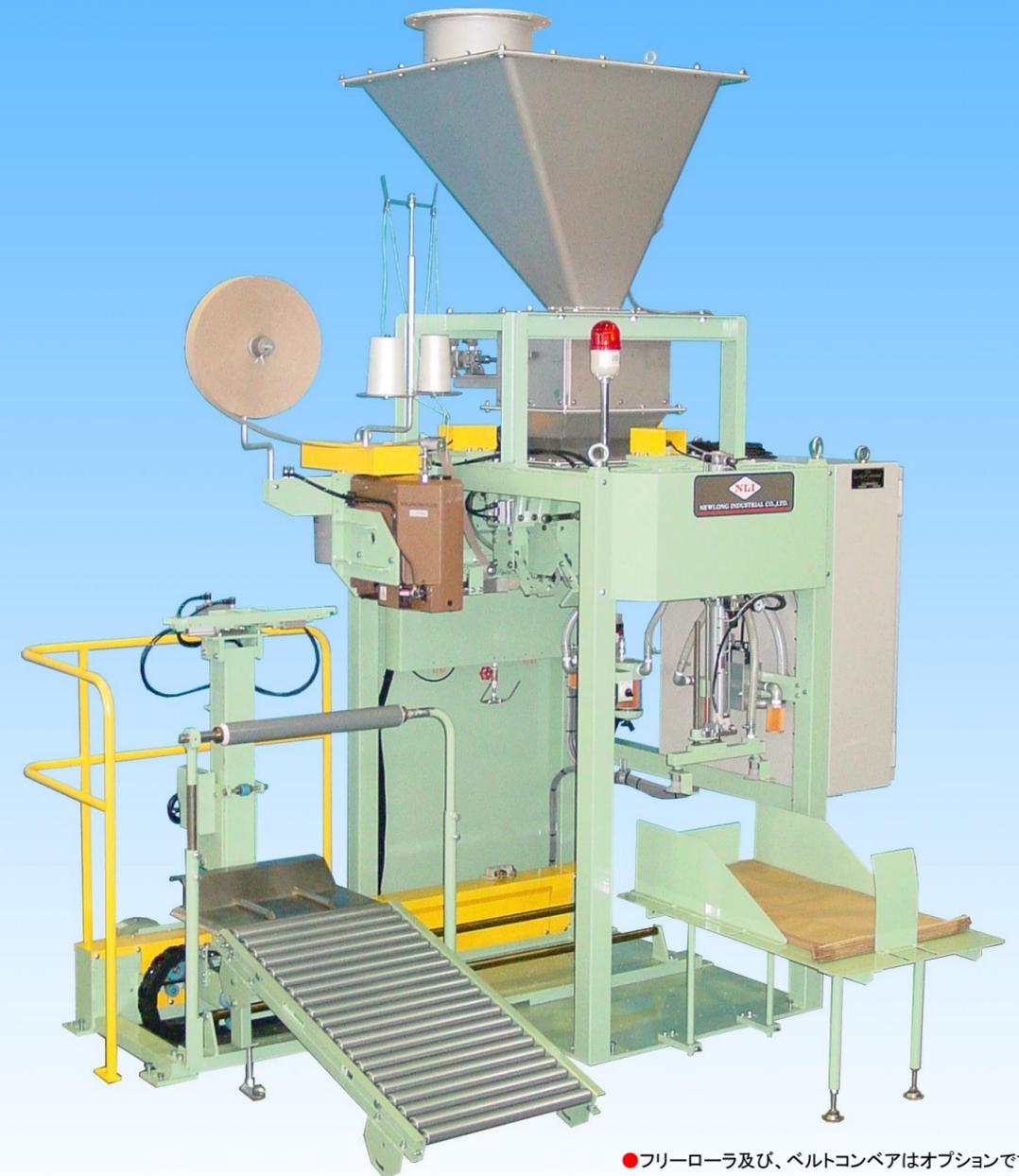
外形寸法図

● 図中の寸法は仕様によりかわります。



AUTOMATIC BAGGING MACHINE

3CM-5BG



● フリーローラ及び、ベルトコンベアはオプションです。

 ニューロング工業株式会社

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥 4-8-14
 本 社 TEL03(3603)2251(代) FAX03(3603)9648
 本社営業本部 TEL03(3603)2284(直) FAX03(3603)2253

NL工業グループホームページ URL/E-mail

URL <http://nlwww.com/>
 E-mail info@nlwww.com



AUTOMATIC BAGGING MACHINE

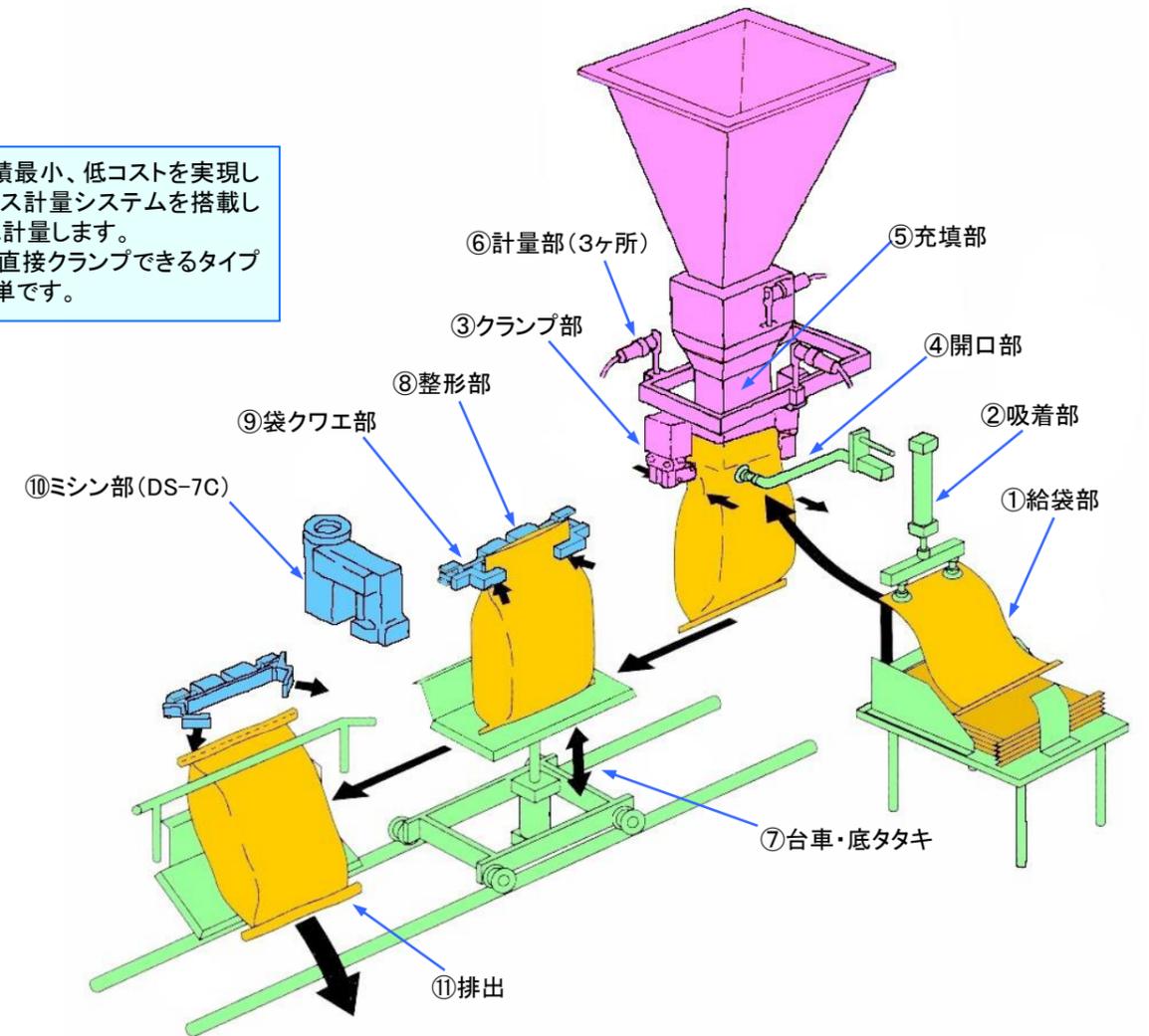
3CM-5BG

ダイレクト投入とグロス計量システムを搭載した簡易型自動包装機

コンパクトなボディ、据え付け面積最小、低コストを実現した3CM-5B型自動包装機にグロス計量システムを搭載して、果粒袋をダイレクト投入、同時に計量します。スイング給袋方式で袋をシュートに直接クランプできるタイプなので、操作メンテナンスが大変簡単です。



●フリーローラ及び、ベルトコンベアはオプションです。



各部の名称

- ① 給袋部
袋口を前にして正しくセットします。約 50 袋程度積み事ができます。
- ② 吸着部
袋を 1 枚ずつ取り出し、90 度回転して充填部にセットします。
- ③ クランプ部
袋の両端をクランプします。クランプ幅 30mm を使用しています。クランプ検出をして、正常袋を確認します。
- ④ 開口部
袋の両側から吸盤にて吸引して開口します。開口した後、吸盤は袋から離れます。真空発生器を使用していますので、吸着取り出しとのタイミングを充分取ります。開口と同時にクランプ寄りします。
- ⑤ 充填部
拡張スパウトにて製品をスムーズに充填させます。(従来の拡張ホッパーを 90 度位相させたタイプ) また充填後クランプはヒダ張りをします。
- ⑥ 計量部
クランプ装置充填装置を 3 個のロードセルで吊り下げています。空袋の自動零点調整を行います。
- ⑦ 台車・底タタキ
充填開始にて定位置からホッパー側へ台車が移動して来ます。底タタキ板にて袋底を持ち上げ、充填促進を図ります。
- ⑧ 整形部
ヒダ張り後、ホッパー側のプレスバーと台車側のプレスバーで袋をはさみ袋口を整形させます。
- ⑨ 袋クワエ部
整形された袋の両端を袋クワエ爪がはさみます。台車が袋をミシン側へ運びます。
- ⑩ ミシン部 (DS-6AC)
走行する台車の上に乗った袋を検出してミシンが始動します。同時に袋クワエ爪が袋を開放します。袋の端を検出してミシンは縫い終わります。
- ⑪ 排出
台車が定位置まで走行し停止すると、袋底タタキ板を傾斜させて袋を滑り落とし排出します。

標準仕様

能力	MAX 120 袋/時 (ミシン速度 8m/分の時)※
袋仕様	クラフト紙袋3~4層 L650~850mm×W400~440mm×GW76mm
袋詰重量	25kg (20~30kg)
計量精度	±1/1000(25kgの時)
所要電力量	約 1.5kW (但しコンプレッサーを含まず)
所要空気量	約 300NL/min (0.5 MPa)真空発生器使用
機械重量	約 700kg

※能力は内容物と袋仕様により異なります。仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

●本カタログ中の製品は、改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。